

腹栄中学校通信　　平成２６年９月５日

教育目標
笑顔追求（腹栄中大好き）、
日々の小さな努力で、
ｽｸｰﾙﾌﾟﾗｲﾄﾞ（自覚・愛着・誇り）の育成

文責　福島英士郎

１　夏休み後、充実した生活を送ろう。

１年生：山口雅加ｻﾝ、２年生：池田翔太君、３年生：塚本龍也君、生徒会：松崎一寿君が夏休みの反省とこれからの学校生活にかける抱負を立派に発表してくれました。

校長からも次の事を徹底するよう全生徒に伝えました。



① **笑顔で元気な挨拶する。**
② **学校のきまりを守り、集中して学習する。**
③ **人権尊重、いじめや差別を絶対しない。**

２　７月に実施しました生徒による学校評価の結果をお知らせします。

	評価項目	1年	2年	3年	全体
1	教科書等の忘れ物をしない。	A	A	B	A
2	授業中、私語や勝手な事をしない。	B	B	B	B
3	**「立腰」の姿勢を保ち、集中して学習できる。**	**C**	**C**	**C**	**C**
4	学ボードを利用して意欲的に学習できる。	B	A	B	B
5	個別の補充学習や発展学習ができている。	B	C	C	C
6	**家庭学習（1,2 年 90 分以上３年 120 以上）ができている。**	**C**	**C**	**C**	**C**
7	週末宿題を提出している。	A	A	A	A
8	学校のきまり（頭髪や服装、遅刻しない）を守ることができる。	A	A	B	A
9	笑顔、大きな声、立ち止まり先に挨拶ができる。	B	B	C	B
10	人権尊重、人をいじめない。差別しない。	B	A	A	A
11	友達や先生に丁寧な言葉遣いができる。	B	B	B	B
12	思いやりや感謝の気持ちを持って生活できる。	B	A	B	A
13	委員会や学級の係、当番の仕事を責任を持ってできる。	A	A	B	A
14	早寝・早起き・朝ご飯の生活習慣ができる。	A	B	B	B
15	自転車のﾏﾅｰやﾙｰﾙ（ﾍﾙﾒｯﾄ・ﾀｽｷ）を守る。	A	A	A	A
16	無言清掃を時間一杯、一生懸命できる。	B	A	B	B
17	給食に感謝し給食を残さず食べる。	B	A	A	A
18	ｹｲﾀｲやｽﾏﾎの利用は家庭でﾙｰﾙを決めて利用できる。	B	C	B	B
19	学校にある道具や施設を大切に利用している。	A	A	A	A
20	自転車小屋の整備や草花の環境整備ができる。	B	B	B	B
21	教室や校舎の掲示教育が充実している。	B	B	B	B
22	机や椅子、ロッカーの整理整頓ができている。	A	A	B	A
23	学校行事に積極的に取り組んでいる。	A	A	B	A
24	部活動等からﾏﾅｰやﾁｰﾑﾜｰｸの大切さを学んでいる。	A	A	B	A
25	学校からの頼りやﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞを家庭に紹介している。	B	C	C	B

①１年生保護者の御意見等
▲授業中の私語が多い。教科書等を学校に置きっぱなしにするので、物がなくなる時があった。▲授業参観の私語等が気になった。▲部活動の帰宅が遅く学習時間を確保するのが難しい。▲日常の学校生活を見ないと評価できない。

②２年生保護者の御意見等
◎学校行事はとてもいい思い出になったようです。◎給食委員会等の表彰があって子どもの励みになっています。▲宿題をもっと出して欲しい。▲学習姿勢がよくなることを期待します。▲授業参観日に学校評価ｱﾝｹｰﾄ用紙を配付してはどうでしょう。▲家庭学習は家庭の協力も必要、学校全体の取組も必要。
▲ HP で学校行事をﾁｪｯｸした場合、ﾀｲﾑﾘｰに更新できていない時があります。

③３年生保護者の御意見等
◎今年は授業態度が良くなったように感じました。▲挨拶の声が小さいと思います。▲自分の子か学校全体の評価かわからない。

④職員意見等
◎少しずつだが、生徒の「できること」が増えてきた。豊かな心の育成に努めたい。◎自転車のﾏﾅｰや学校のきまりはだいぶん改善されてきた。◎挨拶は昨年に比べ改善してきた。▲家庭学習は出来ていないのが現状です。▲基本的な生活習慣や学習習慣は学校と家庭との連携強化が大事です。▲掲示教育の充実が課題です。

⑤学校の対応（全職員で分析し、改善策等を検討しました。）
〇学習姿勢（立腰）の徹底と主体的な学び（学ﾎﾞｰﾄﾞの活用）を行います。
〇家庭と連携し生活ﾉｰﾄの活用と週末課題等の充実に努めます。家庭学習の充実向けて小中で協議します。(9/4)
〇学校のきまりを守る事の大切さ等について継続した指導を行います。改善傾向にあります。御家庭で基本的生活習慣の徹底を御願いします。

３　卒業生の話を聞く会（8/28）





玉名工高校、北稜高校、専大玉名高校、有明高校、大牟田高校、誠修高校、明光学園、岱志高校、有明高専、玉名女子高校から本校卒業生に来校していただき、各学校の特色や部活動についてより具体的な説明をしていただきました。

自分の進路に真剣に向き合い、悔いのない進路選択を期待する。

本田先生（進路指導主事）の話
①生徒達は卒業生の話を真剣に聞いていました。進路への意識の高まりを感じました。卒業生から「真剣に話を聞いてくれて嬉しい」とありました。
②夏休みは「頑張って受験勉強をしました」という話を生徒から聞きました。先輩の話を聞くことで、高校の具体的情報を入手することができました。